

5/17(土)13:30～

(開場13:00)

名古屋大学

文系総合館7階

カンファレンス

ホール



プログラム

13:30 開会挨拶

名古屋大学人文学研究科附属CHTセンター長 周藤芳幸

I 土谷先生のインダス川上流調査資料の紹介

13:35 土谷先生の調査写真の概要

名古屋大学人文学研究科附属CHTセンター 影山悦子

13:55 土谷先生の現地調査のGoogle Map上での照合作業

唐の西域十六都督府の州名について

名古屋大学人文学研究科 岡田理恵子

II カラコルム道を旅した人々の記録：仏教信仰と銘文

14:55 ダレル渓谷で信仰された弥勒大仏

名古屋大学名誉教授 宮治昭

15:25 チラスの岩画とカローシュティ文字

愛知県立大学日本文化学部 内記理

III 学術調査資料（画像データ）の公開・活用に向けて

16:15 井上隆雄写真資料デジタルアーカイブの活動

京都市立芸術大学美術学部 正垣雅子

16:45 東海国立大学機構学術デジタルアーカイブの概要と

土谷先生調査写真公開に向けた検討

名古屋大学附属図書館情報管理課 我喜屋累、田中幸恵

17:25 閉会挨拶

名古屋大学附属図書館長 佐久間淳一



土谷 遙子 Haruko Tsuchiya (1933-2021年)

仏領モロッコ、カサブランカ生まれ。1953年国際基督教大学入学。1961年ミシガン大学留学、修士課程（東洋美術史）修了。1965年アーマッド・アリ・モタメディ氏（カーブル博物館長）と結婚、カーブル大学講師、カーブル博物館客員研究員。1979年帰国。1982～1999年上智大学、講師、助教授を経て比較文化学部教授。宮治昭・モタメディ遙子編『シルクロード博物館：壮大なる東西文明交流のつぼ』（世界の博物館19）講談社、1979年他、多数。

第一回名古屋大学文化遺産学セミナー（対面・オンライン開催）
土谷遙子先生によるインダス川上流踏査
— 調査写真の公開・活用に向けて —

5/15まで



参加申込

主催：名古屋大学人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター（CHTセンター）
共催：名古屋大学最先端国際研究ユニット「文化遺産と交流史のアジア共創研究ユニット」
※写真資料の整理・デジタル化・研究は大幸財団の助成を受けて実施しました。

<https://forms.gle/4BSEsmP3s8CBCHV7>